

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R1夏開催の「市長と語る会」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R2冬)
①東加積小学校の存続	東加積小学校は、生徒の減少により、将来的には複式学級や統廃合といった問題が出てくると思う。滑川市の人口は増えているそうだが、東加積地区には、若い世代が増えていない。将来的に複式学級を回避するために、市としてはどのように考えているのか。また、生徒を増やすためには、若い世代に東加積地区に住んでもらうことが近道だと考えているが、東加積地区に人を集めるような施策等、将来的なビジョンについて教えてほしい。	外部の人を東加積地区に取り込むような施策も大切ですが、今住んでいる人たちの、もう一人子供を産みたいという気持ちを応援することも重要だと思っています。内から人口を考えるというテーマをもっていったほしいと思います。	東加積小学校を小規模特認校とし、市内の児童が通学区域に関係なく、東加積小学校に入学できるようになりました。
②東加積小学校の駐車場	現在、東加積小学校で行事等がある際は、学校前の道路に路上駐車しているため、近隣の住民から苦情がきている。昨年、東加積小学校の駐車場整備について、要望をしたところであるが、そちらの進捗状況や具体的な整備計画についてお聞きしたい。	具体的な場所等について、地元からの要望もお聞きして整備に取りかかりたいと思います。	現在、地元の要望をお聞きしながら場所等の選定を行っているところです。
③土曜授業(1)	土曜授業を県単位で実施していれば、行事日程を調整できると思うが実施しているのが滑川市のみであるため、大会等と日程が被ってしまうのだと思う。土曜授業を国レベルで推進しているのであれば、県を通して主催団体に日程の配慮等を働きかけてもらえないか。	土曜授業は、平日の子どもたち・先生方への負担を軽くすること、子どもたちの学力を国際水準から落としたりたくないという思いで提案しました。大会等への参加については、公欠として取り扱っています。ご要望については承りました。	令和2年度の実施計画を立てる折に、各種団体へ通知するとともに、諸行事の日程に考慮しました。令和2年度の成果と課題を踏まえて土曜授業の充実に努めます。
④プログラミング	プログラミング教育については、プログラミングを覚えることが授業の目的ではなく、論理的な考え方や問題解決能力を身に着けることが目的だと認識している。最初に子どもたちが難しいと感じると、苦手意識を持ってしまう恐れがあるが、実績のある方に講師を依頼することで、プログラミングを楽しんで学んでもらえるのではないかなと思う。富山県内にも様々な人材がいるので、土曜授業でまとまった時間が取れるのであれば、講師を招いてはどうか。	現在、滑川市ではコンピューターコーディネイター2名と専門家1名を中心に、教員のプログラミング教育についての理解を深めながら、授業に取り組んでいます。来年度に向けては、学校に対してICT活用の支援をする指導者や、業務改善のICTアドバイザーによる研修を予定しています。今後も、様々な専門家の力を借りながら進めていきたいと思っていますので、ご提言のように、良い人材がいっぱいいれば、ご紹介いただき、土曜授業等で活用したいと思っています。	令和2年度から小学校で必修化されたプログラミング教育は、各校の教育計画に従って実施されています。授業支援としてコンピューターコーディネイターを派遣したり、教材を貸出たりしています。また、地域の方を特別非常勤講師で配置するなど、プログラミング教育の推進に努めています。
⑤少子化対策	今の時代、家族の在り方についての話題は非常にセンシティブなものである。「もう一人子供を産もう」、「家族はこうあるべき」とは言いにくい環境であり、そういった発言は、時代に合わないと思う。人口減少に際し、若い世代を増やしていくためには、子育て世代が自然に滑川市で子どもを産み育てたいと思える環境を作るしかないと思う。	滑川市では、経済的な理由で2人目の子供を産めない人を支援するために、国に先駆けて、第2子以降の保育料等を所得制限なしで無償化しました。そのような政策が人口の安定に繋がっていると思っています。全国的に第2子の壁を突破した地域は、人口が増えていますので、今後も頑張りたいと思います。	令和2年4月より医療費無償化の対象を高校生までに拡大しました。今後も引き続き子育てしやすい環境づくりに努めます。
⑥博物館カフェ	博物館を憩いの場にするために、博物館カフェでジュースを提供するなど、子どもたちが楽しめる取組みができれば良いと思う。	ソフトドリンクが用意できれば、よりにぎやかになると思います。博物館は景観が良いので、皆さんに利用してもらいたいと思います。	ミュージアムカフェでは豆挽きコーヒー、カフェオレを提供しており、現在のところ、氷の製造等衛生面よりソフトドリンクの提供を行う予定はございませんが、自動販売機もございますのでそちらをご利用いただければと思います。お好きな飲み物を飲みながら、景観も楽しんでいただければと思います。

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R1夏開催の「市長と語る会」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R2冬)
⑦土曜授業(2)	土曜授業と大会の日程が被った場合、複数人で行う競技では、1人が試合に出たいと思っても、もう1人が授業に出たいと思ったら、意見が対立してしまう。大会の日程が被ることは、子どもたちの学習の機会を奪うことにもなっていると思うので、土曜授業と大会の日程をずらすように配慮してもらいたい。また、市外在住の先生の場合、先生の家庭ともずれが生まれ、良い先生が滑川市に赴任しがらないのではないかと不安に思っている。もう少し実施に際し、配慮が欲しいと思う。また、アンケートにおける、土曜授業の賛否についての理由も知りたい。	土曜授業については、おおよそ理解いただいていると思っています。ご提言の内容は、課題として様子を見ながら進めていきたいと思っています。	土曜授業に科学の時間や体験的な学習を取り入れるなど、各学校の特色を生かして定着しつつあります。令和2年度の成果と課題を踏まえて、土曜授業の充実に努めます。
⑨北加積小学校のグラウンド	北加積小学校のグラウンドの水はけが悪く老朽化しているため、整備をお願いしたい。	—	対応について、検討します。
⑩土曜授業(3)	土曜授業の際、午前中に学校が終わると、車で迎えに行く保護者が多いが、北加積小学校前の道路は道幅も狭く危険である。	—	車での送迎について保護者に注意を促しています。
⑪通学区域	通学区域の審議会は、10年に1度の開催だそうだが、10年あれば地域の状況は大きく変化すると思う。その都度町内会から要望を出しているとはいえ、東加積小学校の生徒数減少の問題など10年以上前から地域の問題が解決していない。	通学区域の問題は、滑川市にとって永遠の課題です。通学区と町内の境界が一致すると社会生活が上手くいくと思います。町内会を自由に選択すると、地区自治が成り立たなくなると思いますので、その点も含めて皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。 (なお、次回より通学区域審議会は4年ごとに開催します。)	—
⑫市長と語る会	子どもたちの問題を協議する場があればよいと思うので、例えば、市長と語る会にテーマを設ければ、もっと人が集まるのではないかと思う。	市長と語る会においては、広く意見を聞きたいと思い、現在の形式をとっていますが、テーマ別の語る会という提案も良いと思います。	令和2年度は、地区別の市長と語る会のみ実施しました。今後、テーマを設けるなど広く市民の皆さんからご意見を伺える機会となるよう努めます。